

令和8年度第1回杉並区地域自立支援協議会本会 次第

1 開会・区挨拶

2 会長挨拶

3 新規委員・事務局紹介 …資料1

4 杉並区障害者施策推進計画の改定について …資料2-1、2-2

(1)地域生活に関する調査(障害者基礎調査)に係る報告

(2)「杉並区障害者施策推進計画」の改定に向けた取組について

5 各部会報告 …資料3

～～～ 休憩10分 ～～～

6 グループ討議 …資料4

「障害のある方の“日常”から考える居場所とつながり」

7 その他(連絡事項)

・トークライブ実行委員の募集

・本会年間スケジュール確認 …資料5

<配布資料>

資料1 令和8年度第10期杉並区地域自立支援協議会委員名簿

資料2-1 地域生活に関する調査(障害者基礎調査)の結果について

資料2-2 杉並区障害者施策推進計画の改定に向けて

資料3 令和8年度部会活動報告(第1回本会開催時点)

資料4 令和8年度第1回本会グループワーク説明資料

資料5 令和8年度杉並区地域自立支援協議会年間スケジュール

## 令和8年度第10期杉並区地域自立支援協議会委員名簿

NO.		委員氏名	団体名等	部会	備考
1	◎★	相川 章子	埼玉県立大学保健医療福祉学部教授		学識経験者
2		木津 石生	フラット		障害当事者
3		齋藤 聡	アーツアンドクラフツ株式会社		
4		吉田 誠	杉並いずみ第一		
5		田邊 大樹	都立中野特別支援学校(高等部)		教育関係者
6		鈴木 督	都立永福学園肢体不自由教育(高等部)		
7	新規	小林 広之	杉並区社会福祉協議会		権利擁護関係者
8		氷見 真敏	杉並区障害者雇用支援事業団		就労支援関係者
9		大島 茂則	永福南社会福祉ガーデン		サービス事業所
10	新規	市倉 由佳	精神障害者地域生活支援すぎなみ会議		
11	新規	米山 拓也	社会福祉法人済美会		
12		相田 里香	杉並区ケアマネジャー協議会		高齢分野
13		新井 陽子	地域包括支援センターケア24梅里		
14		藤井 志乃	高齢者在宅支援課地域包括ケア推進係長		
15		継 仁	杉並区医師会		保健医療関係者
16	新規	市瀬 佳子	和泉保健センター保健指導担当係長		
17	★	野瀬 千亜紀	すまいる荻窪		相談支援事業所 (すまいる)
18	★	藤巻 鉄士	すまいる高円寺		
19	◎★	若山 大地	すまいる高井戸		
20	★	修理 美加沙	やどり木	相談支援部会長	特定相談支援事業所
21	★	早野 節子	相談支援事業所かすみ草	相談支援部会副部会長	
22	★	細貝 長武	キラキラステーション	高齢・障害連携部会長	
23	★	厚地 朋子	いたる相談室	地域生活支援拠点部会長	
24	★	小倉 邦昭	支援センターすだち	地域移行促進部会長	
25		河津 利恵子	障害者団体連合会		家族
26		池部 典子	障害者団体連合会		
27		北田 祐果	共生社会しかけ隊		障害当事者/余暇・地域

◎会長 ○副会長 ★幹事会メンバー

NO.		事務局氏名	役職
1	新規	福原 善之	保健福祉部長
2	新規	江川 志穂	保健福祉部障害者施策課長
3	新規	矢光 美保	保健福祉部障害児支援担当課長
4	新規	松下 美穂子	保健福祉部障害者施設支援課長
5	新規 ★	酒井 美訓	障害者施設支援課すぎのき生活園支援担当係長
6	★	石場 幸雄	障害者施策課こども発達センター所長
7	★	永沢 文子	障害者施策課障害者保健担当係長
8	★	田邊 信広	障害者施策課障害福祉サービス係長
9	新規 ★	齋藤 美紀	障害者施策課基幹相談支援係長
10	★	山本 千佳	障害者施策課基幹相談支援係
11	新規 ★	松岡 沙紀	障害者施策課基幹相談支援係

# 地域生活に関する調査 (障害者基礎調査)の 結果について

障害者施策推進計画を踏まえての分析

令和8年6月4日

障害者施策課 計画調整担当



# 杉並区の障害者の全体像



## 杉並区の障害者手帳所持者数

		身体	知的	精神	合計
R7	合計	12,119人	3,077人	5,895人	21,091人
	65歳以上の人数	7,884人	259人	638人	8,781人
	65歳以上の割合	65.05%	8.41%	10.82%	41.63%
R4	合計	12,278人	2,768人	4,673人	19,719人
	65歳以上の人数	8,141人	212人	611人	8,964人
	65歳以上の割合	66.31%	7.65%	13.07%	45.45%

4月1日現在の所持者数

## 杉並区の障害者の年齢・障害種別

手帳所持者数は、増加傾向  
知的障害の所持者数も増加しているが、  
精神障害は、3年間で1,222人の大幅な増加

障害者の高齢化率は、身体障害で65%と高い状況

# 施策1 共生社会実現に向けた 障害理解と意思疎通支援の推進

## 事業1

### 障害者の権利擁護と共生社会づくりの推進

#### (1) 障害の理解促進と合理的配慮の提供

- 障害や病気等を理由とする差別やいやな思いの経験の有無
  - ・「差別やいやな経験がある」が42.6% (前回40.5%)
  - ・「ない」が54.3% (前回56.4%)
- 相手や周りの人にどのようなことをしてほしいか
  - ・「人によりできることや困ることが違うことを知ってほしい」が55.6%
  - ・「障害を理解してほしい」が47.6%

## 事業2

### 障害特性に合わせたコミュニケーション支援の充実

#### (2) コミュニケーション支援の充実

- コミュニケーションをとるときの支援
  - ・主に口話  
(パソコン・携帯・タブレットや筆談など手段が多様化)
  - ・家族やヘルパーが代わりに説明(支援不要も多い)
- ・従事者の半数以上が「困ったことがある」と回答
- ・知的障害者との意思疎通が難しい



## 施策2 障害者の就労と社会参加の推進

### 事業1 障害者の就労支援の推進・拡充

#### (1) 就労支援

- 仕事の状況について
  - ・「現在就労、就労経験のある人」が78.2%
- 働き続けるために必要なこと
  - ・「会社や上司、同僚の障害理解」、「相談先があること」が多い
- 働きたくない理由
  - ・「障害(病気)や特性から難しいと思っている」が67.5%(前回58.2%)

### 事業2 障害者の社会参加支援の推進

#### (1) 余暇活動の場の充実

- 出かけるときに困ること、活動頻度
  - ・「公共交通サービスによる移動(乗り降り、階段、表示など)」、「障害理解」、「人との対話」
  - ・「外に出る活動をしていない」が17.5%(前回25.0%)
- 外に出て楽しく活動するために必要なこと
  - ・「参加しやすい場所などの情報」が34.0%(前回26.3%)
  - ・「一緒に行く仲間がいる」が28.9%(前回25.4%)
  - ・「出かけられる場所が近くにあること」が24.7%(前回25.9%)
  - ・「出かける施設・建物が利用しやすいこと」が23.0%(前回14.9%)

# 施策3 障害者の地域生活を支える基盤づくり①

## 事業1

### 障害者の地域生活支援体制の推進・強化

#### (1) 緊急時地域生活支援の体制の整備

##### ● 緊急時対応計画を知っているか

- ・「言葉だけ聞いたことがある」、「知らない」が42.6%  
(前回42.3%)

#### (2) 障害者の相談支援の充実(ピア相談)

#### (5) 地域移行の促進(ピアサポーター等)

##### ● ピア活動を知っているか

- ・「知らない」が87.3%

#### (4) 福祉人材の確保・育成

##### ● 事業所の職員の充足状況

- ・「大変不足」、「やや不足」が71.0%

##### ● 区の施策に望むこと

- ・「ホームヘルプなどの在宅サービスの充実」  
(者11.1%、児8.3%)
- ・「障害福祉で働く人を増やしたり、育ててほしい」  
(者13.7%、児18.8%)

#### (7) 障害者の家族への支援

##### ● 介護者が就労しているか

- 者:「就労している」が37.0%、「就労していない」が39.8%
- 児:「就労している」が66.9%、「就労していない」が31.9%
- 児:「正規職員での就労」が52.3%(前回48.8%)

##### ● 就労していない理由

- 者:「働く必要がない」が26.3%、「自身の健康」が25.0%
- 児:「子育てに専念するため」が76.6%、  
「お子さんの預け先がない」が20.7%

##### ● ヤングケアラーの概念を認識しているか(事業所)

- ・「対応している」が31.6%、  
「言葉は知っているが対応をしていない」が60.6%

# 施策3 障害者の地域生活を支える基盤づくり②

## 事業2

### 重度障害者等の通所施設整備と住まいの確保

#### (3) 障害者の住まいの確保等の支援

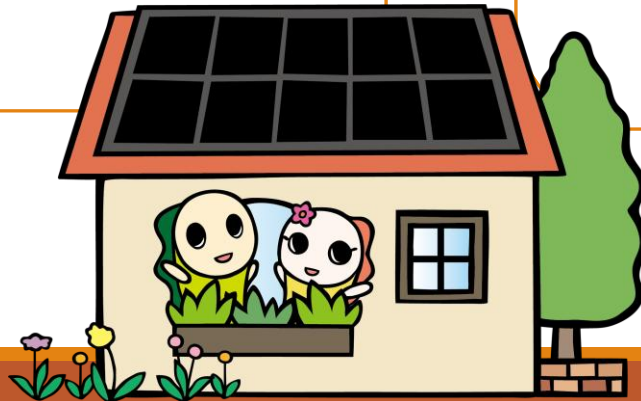
- これからどのような暮らしを望んでいるか
  - ・「今の家族と暮らしたい」が55.2%、
  - 「一人暮らし」が27.1%、「グループホーム」が8.6%
  - ・知的障害と重度障害者は、「グループホーム」が40%超

## 事業3

### 高齢障害者・中途障害者への支援の充実

#### (1) 高齢・障害施策の周知と連携の促進

- 介護保険対象者のサービスの利用
  - ・「利用している」が47.9%（前回16.7%）
- 介護保険サービス利用時にどう思ったか
  - ・「利用開始時にお手伝い（ケアマネなど）から丁寧な説明があった」が61.5%
  - ・「介護保険のお手伝いをしてくれる人（ケアマネなど）にすぐ相談ができるようになった」が40.0%



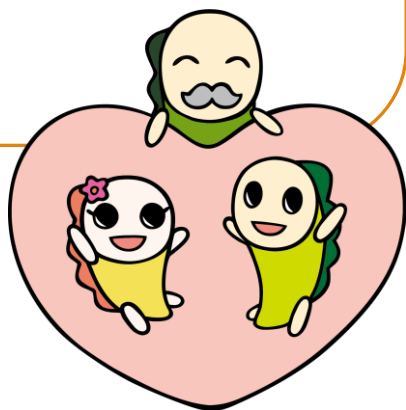
# 施策3 障害者の地域生活を支える基盤づくり③

## 事業4

災害など非常時に障害者が安心して暮らせる体制整備

### (1) 災害時における支援体制の充実

- 地域たすけあいネットワークの手続きをしているか
  - ・「手続きをしている」が15.9%(前回16.5%)
- 福祉救済所を知っているか
  - ・「知らない」が88.4%



## 事業5

障害者の地域医療体制の整備

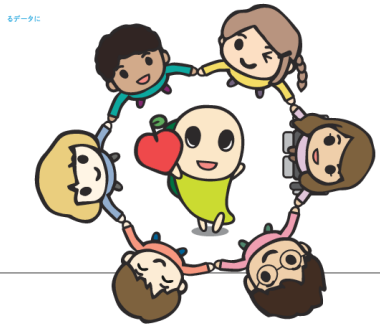
### (1) 移行期医療の支援及び保護者等への普及啓発

- 小児科から成人科への移行に苦労した(者)不安(児)  
(者4.0%、児23.4%)

#### 【その他】

- ・かかりつけ病院が近くにない、介助が必要
- ・専門医療機関の不足。特に発達障害と重度障害者が専門医療機関が身近に少ないと回答
- ・医療的ケア者の推移
- ・医療的ケアの対象者数は、変化なし
- ・経管栄養・血糖測定・皮下注射・痙攣時の対応が増加

# 障害児(18歳未満)の杉並区の様況



## 18歳未満の障害者手帳の所持者数

		身体	知的	合計
R7	18歳未満の合計	330人	783人	1,113人
	18歳未満の割合	2.72%	25.44%	7.32%
R4	18歳未満の合計	310人	654人	964人
	18歳未満の割合	2.52%	23.62%	6.40%

※ 精神は、18歳未満の年齢の統計なし

※ 18歳未満の割合は、全所持者の人数の割合(P2参照)

4月1日現在の所持者数

## 調査結果

障害者手帳を「持っている」46.3%

「持っていない」38.9%

## 診断の傾向

低年齢層：発達障害の割合増

高年齢層：知的障害の割合増

## 診断の有無

診断を受けていない人 14.4% (前回24.4%)

# 施策4 障害児支援の充実と 医療的ケア児の支援体制の整備①

## 事業1

### 未就学児の療育体制等の充実

#### (1) 障害児の発達相談の充実(事業1)

#### (1) 学齢期の発達障害児の相談・療育の充実(事業2)

##### ●最初の相談先はスムーズに見つかったか

- ・「スムーズに見つかった」、  
「見つけにくかったがわかった」が80.5%(前回78.3%)

#### (2) 障害児の放課後の居場所の拡充(事業2)

##### ●放課後の居場所について困っていることはあるか

- ・「夏休みなど長期休暇中の居場所がない」が39.1%  
(前回29.9%)
- ・「お子さんの状態にあった施設がない、または少ない」が32.2%  
(前回27.3%)

## 事業2

### 学齢期の障害児支援の充実

#### (2) 療育支援の充実(事業1)

#### (2) 障害児の放課後の居場所の拡充(事業2)

##### ●利用状況(充足度)と満足度

(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)

		児童発達	放デイ
R7	充足度	78.10%	64.60%
	満足度	88.40%	89.10%
R4	充足度	77.10%	67.90%
	満足度	70.50%	72.20%

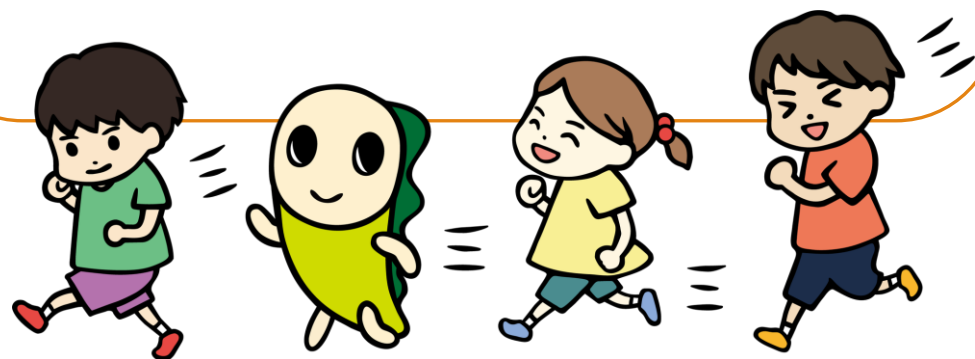
# 施策4 障害児支援の充実と 医療的ケア児の支援体制の整備②

## 事業3

### 地域における医療的ケア児の支援体制の整備

#### (1) 医療的ケア児の受入れ体制の充実

- 医療的ケアが必要な児の数  
128人(前回96人)
- 医療的ケアの種類(全質問項目16項目)  
15項目に該当者あり(前回13項目)



#### 【その他】

- 医療機関との連携
  - ・「かかりつけの医療機関がある」が84.8%(前回82.2%)
  - ・「近隣にかかりつけの医療機関がある」が41.3%(前回48.7%)
- 医療機関や健康管理について困っていること
  - ・「通院に時間がかかる」が33.4%(前回29.0%)
  - ・「疾病や障害に対応できる専門的な医療機関が身近にない」が26.5%(前回25.0%)

# 杉並区障害者施策推進計画の改定に向けて

令和8年6月4日

障害者施策課 計画調整担当

## 2. 改定に向けた取組(策定方針)

### (1)改定の基本的な考え方①(3計画を包含)

#### 障害者計画

- ・【障害者基本法】
- ・障害者施策に関する基本的な計画

#### 障害福祉計画

- ・【障害者総合支援法】
- ・目標(成果目標)
- ・見込量(活動指標)
- ・地域生活支援事業(実施状況)

#### 障害児福祉計画

- ・【児童福祉法】
- ・目標(成果目標)
- ・見込量(活動指標)

### 「杉並区障害者施策推進計画」

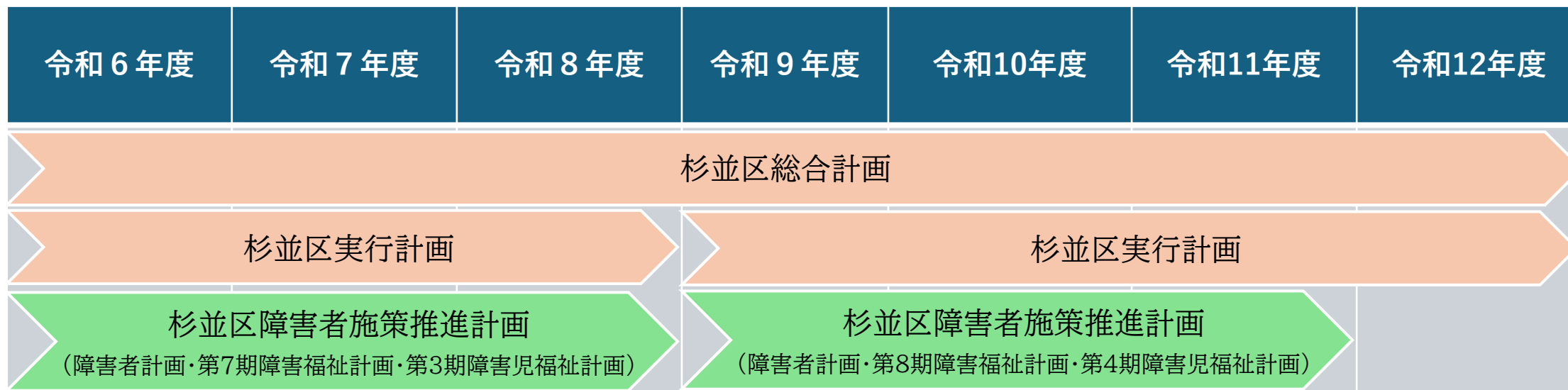
「杉並区保健福祉計画」を構成する障害者分野の計画として、上記の3計画を一体化して、「杉並区障害者施策推進計画」を策定(改定)する。

## 2. 改定に向けた取組(策定方針)

### (1) 改定の基本的な考え方②(計画内容)

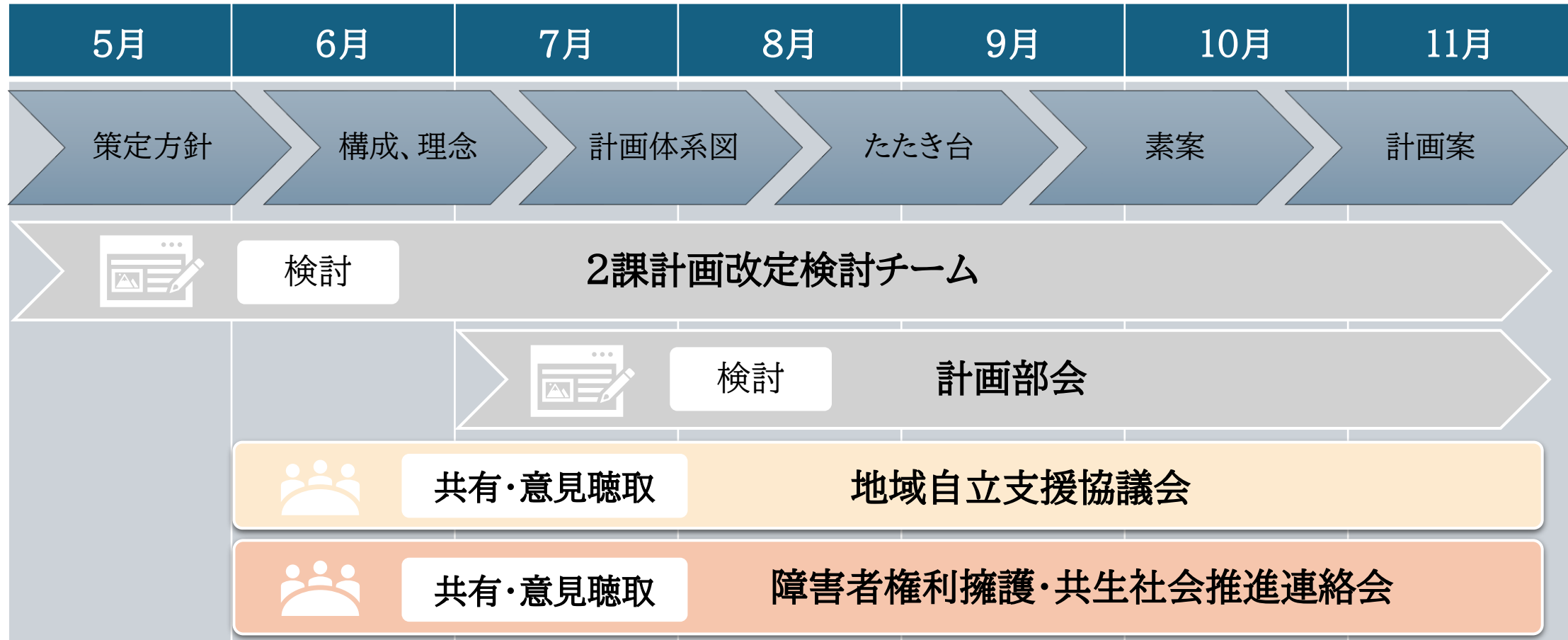
- ①計画改定案の作成に当たっては、国の基本指針を踏まえた計画内容とする。
- ②これまでの実績や令和7年度に実施した地域生活に関する調査(障害者基礎調査)の結果等を踏まえる。
- ③上位計画である「杉並区総合計画・実行計画」等との整合を図る。

### (2) 計画期間(国の基本指針に基づく3年間の計画)



## 2. 改定に向けた取組(策定方針)

### (3) 今後の進め方



- 12月 区民等の意見提出手続(パブコメ)を実施
- 1月 計画案の修正
- 2月 改定計画の決定
- 3月 公表

## 令和8年度部会活動報告（第1回本会開催時点）

部会名	第1回開催日	第1回内容（予定）	今後の予定・方針
計画部会	7/2（木）	資料2-2のとおり	
相談支援部会	6/5（金）	昨年（前期）は、地域課題の抽出方法や考え方について議論を行った。 今年（後期）は、地域課題を抽出した後どのような形で地域に共有していくか、過程や共有方法、共有する相手先について検討を進めていく。	杉並区における、個別事例から地域への課題が抽出されて、共有し協議されるしくみ作りを進めていきたい。 しくみ作りの過程で出た課題を協議会に共有していきたい。
地域移行促進部会	6/19（金）	第2回の不動産会社との懇談会での相互理解促進に向け、①部会から発信、伝えたいことと②不動産会社に聞きたいこと、を第1回のグループ討議で内容を整理、検討していく予定	令和7年度の実績や繋がり（居住支援法人や居住支援協議会等）を通し、第2回で地域の不動産会社との相互理解と繋がりを作っていく場として懇談会を行う予定。
高齢・障害連携部会	6/17（水）	移行期のリーフレットについて、より使い勝手の良いものにするため、グループワークを行う。また、右記③についても高齢・障害それぞれの取り組みについて意見交換等を行う。	①移行期のリーフレット等の作成・啓発をきっかけとした高齢・障害分野の支援者の情報共有と連携を図る ②デイサービスを利用している当事者の声を伝えるとともに、当事者にわかりやすい案内などを作成する ③高齢・障害それぞれの施設に、高齢障害者の支援を考える機会を作るとともに、家族等への働きかけを行う
地域生活支援拠点部会	<知的WG> 未定 <緊急時WG> 6/25（木）	<知的WG> 知的地域移行PTの目的や到達目標を再共有する。その上で、活動の進捗状況と今後の流れの確認、懸念事項等について意見交換を行う。 <緊急時WG> 緊急時対応ショートの入事例を用いた検証を通じ、現在の緊急時対応事業の実効性等について意見交換を行う。	<知的WG> 知的地域移行PTの活動を進めながら、部会ではPTの活動報告と取組についての意見交換を実施していく <緊急時WG> これまでの緊急時対応事業の事例を踏まえて、事業所間の連携体制や役割分担を整理し、事業の実効性を高めていく方策を検討する。また、サービスマップ等を用いた“見える化”により、各緊急時対応事業の周知を一層強化していく予定
こども部会	6/25（木）	（仮）前回の部会で示された課題を整理し、地域において限られた体制の中で、実現可能な連携の工夫は何か、個別事例から地域における関係機関連携の在り方をグループディスカッションを通して考える。	実務負担に配慮した連携体制の具体化 相談・情報提供機能の改善について重点に取り組む方針

# 障害のある方の"日常"から考える 居場所とつながり

日常生活の中にある居場所や関係性（インフォーマルな繋がり）が重要 → まず「日常の中でどのように過ごしているか」を起点に、居場所の本質を整理する

## 1. テーマ設定の経緯

### 前回テーマ

居場所づくりの検討における当事者意見の反映について

### 主な意見（3分類）

#### ① 当事者意見の反映方法

- ・既存取組（すまいる等）の活用
- ・当事者同士の意見交換の場
- ・施設職員による声の吸い上げ

#### ② 居場所の在り方

- ・日常利用（スーパー等）＝自然な居場所
- ・オンラインでの交流も可能
- ・当事者の企画参加

#### ③ 居場所創出

- ・すまいる × 地域福祉コーディネーターで新サロン立ち上げ

## 2. ワークのポイント

×「何が（どこが）居場所か」

### ○「普段どのように過ごしているか」

- ✓ どこで・誰と・何をしていると安心か
- ✓ 制度・サービスに限らない
- ✓ インフォーマルな場も対象

#### 💡 例えば…

- ・スーパー・コンビニでのやり取り
- ex.) 毎日通うカフェやコンビニで店員さんと挨拶するような、日常のちょっとした人とのつながりを楽しみに過ごしている
- ・オンラインでの交流
- ・散歩中の近所付き合い

## 3. 進め方（3ステップ）

### STEP 1 付箋に記入・共有

関わりのある障害のある方（当事者委員はご本人）の日常の過ごし方を書き出す

### STEP 2 気づきの整理

共有内容をもとに、重要だと感じた点を抽出・整理

### STEP 3 意見交換

協議会として今後どこまで（どのように）取り組むかを議論

#### アウトプットイメージ

- ・日常の過ごし方の可視化
- ・居場所の本質についての議論

※ 机上のMAPは自由に活用してください

## 令和8年度杉並区地域自立支援協議会年間スケジュール

## &lt;第1回&gt;

日程	内容	場所
5/22(金)10:00~12:00	幹事会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1
6/4(木)14:00~16:00	本会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1・2
6/18(木)14:00~16:00	幹事会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1

## &lt;第2回&gt;

日程	内容	場所
8/19(水)10:00~12:00	本会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1・2
9/4(金)10:00~12:00	幹事会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1

## &lt;第3回&gt;

日程	内容	場所
10/22(木)10:00~12:00	本会	ウェルファーム杉並3階 消費者センター教室1・2
11/5(木)10:00~12:00	幹事会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1

## &lt;第4回&gt;

日程	内容	場所
3/4(木)14:00~16:00	本会	ウェルファーム杉並4階 共用会議室1・2
3/18(木)14:00~16:00	幹事会	杉並区役所西棟8階 第9会議室 B